

村上忠順 字敬毅 國學者。文化九年四月一日二河國碧海郡堤村生れ、
 明治十七年十一月二十三日歿（二八二一益）。宇成郷。號千卷舎、四方
 樹、蓬、蓬廬。精合儀丸、石川依平の和歌の添削を受け、嘉永二年木
 居内遠の門に入る。安政二年刈谷藩士侍醫となり、慶應四年有栖川宮
 の隨行として駿府に出仕。翌年二河藩醫家修道館助教、のち盲教師、洞宮、
 心講義師任。

著書に、『村上忠順標註古語拾遺』（明治八年一月深見藤七藏板）、『頭
 新葉和歌集』（明治二十五年一月、千石権助館。市田大吉補、頭註新
 葉和歌集』昭和十一年八月八日改造社）、『村上忠順集』（昭和四十
 四年四月十日愛知・村上正雄刊）、『村上忠順集第一』（総行簿）『昭
 和四十九年四月一日愛知・村上正雄刊』等。

